

SSKU



みんなな輝け

（社福）かがやけ福祉会ニュース No.160

編集 （社福）かがやけ福祉会 〒124-0021 葛飾区細田3-5-3
電話:03-5668-1146/FAX:03-5668-1147/電子メール:kagayake01@jcom.zaq.ne.jp
<http://kagayakefukushikai.or.jp/>



10月6日（土）高砂中学校にて、第21回かがやけスポーツ祭が行われました。雨というあいにくの天気でしたが、体育館で一人ひとりが最後まで力を出し切り、熱気と素敵な笑顔があふれたスポーツ祭となりました。当日はたくさんの保護者の方、ボランティアの方にご参加、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。なかまの皆様、職員の皆様もお疲れ様でした。

表紙：第21回かがやけスポーツ祭

2ページ：きょうされん第43回国会請願署名・募金運動へのご協力のお願い

3ページ：きょうされん全国大会 in あいち

4ページ：研修に参加して「たん吸引・胃ろう」

かがやけ第2共同作業所まつりお礼／なかままつりお礼／
募金報告／編集後記

障害のある人たちが
あたりまえに働きえらべる暮らしを

今年も残りわずかとなりました。

そして、この時期がくると“きょうされん
国会請願署名・募金運動”の取り組みがはじ
まります。

障害福祉についての拡充を求め、署名運動
を続けて今年で四十三年となります。

国は、「全世代型社会保障改革」と銘打って、
子どもから高齢者まで幅広い世代の社会保障
を実現するといっています。聞こえの良い施
策のように思えますが、その大きな目的は、
国民の負担を増やし、国の負担する社会保障
費の予算を削減することがねらいとなってい
ます。

今年の十月から消費税八%が十%に引き上
げられました。国は、消費税は、社会保障の
充実にと制度当初からいっています。一向
に社会保障の充実にはなっていないのが実状
です。

障害者権利条約が、我が国で批准され六年
が経過しました。障害のある人が障害のない
人と同等に生きることのできる社会を実現し
なくてはなりません。

しかし、日本の障害者福祉の予算は、OE
CD（経済協力開発機構三十五カ国加盟）諸
国の平均値に比べても低い予算となってい
ます。

〈第四十三次国会請願署名の請願項目〉

1, 「旧優生保護法に基づく優生手術等を受け
た者に対する一時金の支給等に関する法律」
は、国の謝罪を明記し、支給額を見直すなど、
被害者の人権回復にふさわしい法律として下
さい。

2, 障害年金を安心して生活できる水準まで
引きあげるとともに、グループホームやヘル
パー制度など希望する暮らしを支える制度を
拡充してください。

3, 「二〇二二年度の報酬改定」では、必要な
職員を確保して十分な支援ができるよう、基
本報酬を引き上げてください。

4, 障害がある人は六十五歳を超えても必要
とする支援を自ら選んで利用できるよう、介
護保険優先原則を廃止してください。

5, 地域活動支援センターが安定して運営が
できるよう、国の責任で実態を調査し、制度
を拡充してください。

十二月六日の全国で取り組まれるがんばる
ダイ街頭宣伝（中央・新宿西口）皮切りに、請
願署名・募金運動がはじまります。障害があ
る人たちがあたりまえに働きえらべる暮らし
を”の願いを多くの人たちに伝え広めていき
ましょう。

〈文責 相談支援センターかがやけ 白井〉



十一月から順次、きょうされん加盟事業所に署名
グッズを送付しております。

今期、かがやけ福祉会の署名の目標数は三千筆、
募金は二十万円を目指して取り組んでいきます。

各事業所から後日配布致します。ご近所の方やお
知り合い・ご友人・ご親戚の方など、幅広い方々に
署名を広げてください。

障害者権利条約に基づいた法整備がなされ、障害
のある人たちへの理解が社会に広く浸透し根付くこ
とで、障害のある人たちが安心して地域生活を送れ
ることをめざし活動を共に広げていきましょう。



きょうされん全国大会inあいち に参加してきました

きょうされん全国大会に初めて参加し、まず全国から集まった各事業所の職員や障害のある方、ボランティアを含め参加人数の多さに驚きました。

分科会では「暮らし・居住」の分野に参加し、長年グループホームで生活している利用者の事例をあげて、その方の意思を尊重した支援の仕方や、高齢になってから発症した病気（医療機関との連携）などについてまとめたレポートの発表を聞きました。

分科会では討議がメインで行われ、色々な視点から意見や悩みが挙げられていましたが、どれも共感するものばかりでとても勉強になりました。

この全国大会で得た学びを、これから自分で実践していけたら良いと思います。

〈文責 アルクアンシエル 柳田〉



全国大会参加者で記念撮影！

十月二十五、二十六日にきょうされん全国大会in愛知に参加してきました。第2のなかまや職員と共に共同作業所の生い立ちや利用者500人の合唄構成を見て、皆楽しそうに堂々とした姿に圧倒されてしまいました。分科会では「表現活動」に参加し、なかまがどのように自分を表現しているのか、生き生きとした姿を地域に広めたい。なかまが主人公である為に職員が出来る事を学んできました。

授産以外の活動の大切さや、そのなかま一つ一つの行動、表情が「表現」であることに着目し、その一つ一つを大切に、なかまと共に楽しむ事でまた新たな可能性を見つけていきたいと思えます。

約3000人の参加の中、全国のなかま達の力強い願いや思いがとても伝わる二日間でした。

〈文責 かがやけ共同作業所 小田〉



かがやけ第2共同作業所からは、調理班の利用者野坂麻希さんが代表で参加しました。

野坂麻希さんは調理班で十年以上働いているベテランです。お米の担当として、お米の計量、洗米機を使った洗米から、ご飯の容器を準備し、炊きあがったご飯を計量してお客様の元へ配達する仕事を主に担当しています。今年からはトイレ清掃のトレーニングをし、晴れてトイレ清掃デビューも果たします。



レポート発表中の野坂さん(右)

した！そんな功績が認められ代表に選ばれました。

利用者交流分科会「しごとじまん みんなのしごとをじまんしよう！」に参加し、「レポート発表」を行いました。事前に用意してあった動画で仕事の様子を見ていただき、しっかりと自分の言葉で「仕事」のことを発表してきました。また、「お弁当はどうやって届けるのですか？」「お弁当は何食位注文があるのですか？」などなど、たくさんの質問にも堂々と答えていました。分科会の休憩時間に名刺交換をしたことも楽しかったようです。



大会終了後、喫茶店にて

先日、作業所で、全国大会の報告会をしました。発表の様子を見てもらい、発表した内容も発言してもらいました。「野坂さん 本当にがんばってきたね」とみんなからも認められ、誇らしげな表情でした！見ていた私も野坂さんの成長ぶりに思わずうるうるしてしまいました！これからも、美味しいお弁当をたくさん作って、毎日楽しく仕事がんばろうね！

〈文責 かがやけ第2共同作業所 古谷〉

たん吸引・胃ろうの研修を 受講してきました

皆さんこんにちは、グループホームエタンセル所属の濱野です。

今年の9月、私はたん吸引、胃ろうについて二日間の研修に行きました（東京都主催の介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修）。

エタンセルではOさんが今年の1月頃体調不良により3か月ほど入院し、5月にも再度入院し、7月に胃ろうの手術を受け現在も入院中です。

ご飯が大好きだったOさんが突然の胃ろう生活になり、未だに信じがたいのですが、これからのOさんの事を考え寮に帰ってきた時の対応のため、そして高齢化していくこれからの利用者の方のために色々学んできました。2日間という短い間でしたが、講義やデモンストレーションの見学や筆記試験と、とても内容の濃い2日間の研修でした。

この経験を通してOさんが帰ってきた時には地域の訪問看護のスタッフの方々や他の職員と連携を取りながら、Oさんが安心してエタンセルで暮らしていけるような基盤作りをしていきたいと思えます。

〈文責 エタンセル 濱野〉

にじごころくまじりのお礼

八月三十一日（土）に「第十五回みんななが

やけ！にいじゆくまつり」が開催されました。今年のテーマは「ハワイアン」でした。

新宿いちばん太鼓の演奏で幕を開けたおまつりですが、舞台ではバンド演奏二組、よさこいソーラン、フラダンス、大抽選会と終始大盛況でした。

またバザーや子供縁日、ブルーシアター、折り紙遊びなど、どのブースもたくさんの方の来場者であふれていました。

当日はたくさんの方のボランティアさんにご協力いただき無事に終えることができました。ご協賛、ご協力いただいた町会、企業、個人の皆様、当日ご来場いただいた地域の皆様、その他色々な形でご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

〈文責 かがやけ第2共同作業所 照沼〉

なかまつりのお礼

今年の秋のなかまつりは、二〇一九年十一月十日（日）に開催いたしました。お祭り当日は、たくさんの方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。

今年度のお祭りも、毎年ボランティアで参加して頂いている方々に加えて、近隣の高等学校、専門学校の学生さんがお手伝いに来て下さり、なかまや保護者の皆様と共に秋のなかまつりを盛り上げて下さいました。

今年も、なかまが作業所で製作している自主製品の花たわしやクッキー、ビーズ、CG製品などをたくさん販売させていただきました。

た。また、今年度から新たになかまが製作している羊毛フェルトを使用したバッグ、マグネット、近隣の地域の方々から、無償で提供して頂いたバザー品や手作りの品もとても好評でした。

おまつりの準備段階では、仕事委員のなかまや各班の代表の実行委員が中心となり、準備を進めていき、当日の売上は目標金額を上回る売り上げとなりました。今回の売り上げは通所されているなかまのボーナスとなります。今年もたくさんの方々にご協力いただき、誠にありがとうございました。

〈文責 かがやけ共同作業所 鳥海〉

《かがやけ募金ご報告》

二〇一九年八月一日〜

二〇一九年十一月三十日

【158,836円】でした。

いつも温かいご支援をありがとうございます。

【編集後記】

このところ、一段と寒くなり布団から抜け出すのがつらい朝がやってきました。毎年のことなのに何故か慣れない寒い冬の朝。そういうえば、「寒い冬の日」といえば毎年のあれがやってきます。そうあれです。JR新宿駅西口のあれです！「がんばるデイ（国会請願署名運動）」！皆で声を合わせ今年も頑張りましょう！

〈文責 かがやけ第2共同作業所 伊東〉